

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 卷第 28 号

第 28 週 (7月 10日 ~ 7月 16日)

発行年月日:平成18年(2006年) 7月 24日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3050 FAX 077-537-5548

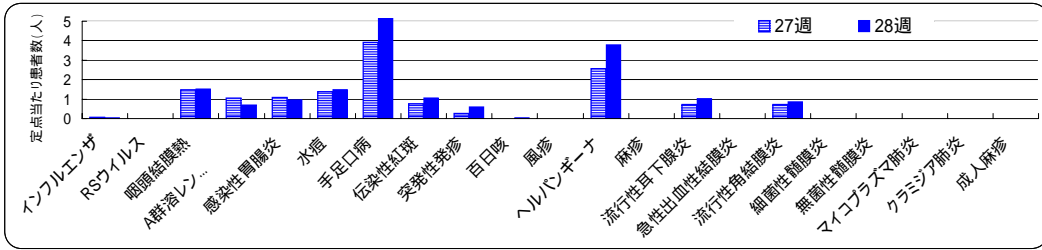
今週の感染症発生動向

手足口病の発生は再び急増!

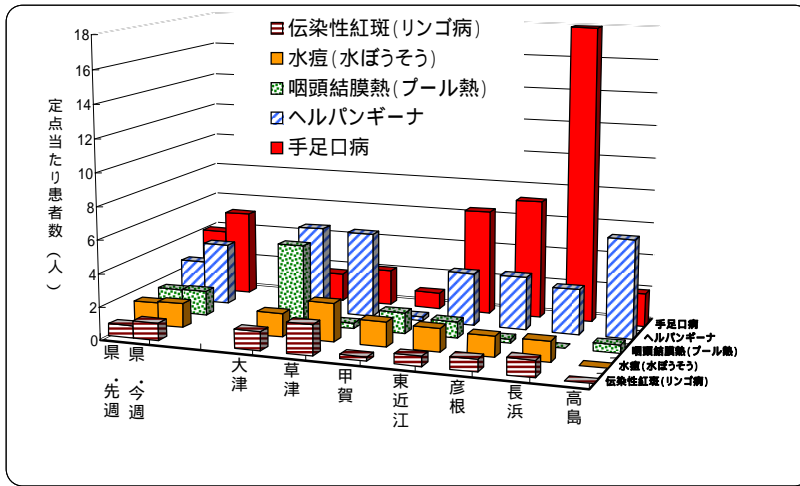
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(7月3日~7月9日)の報告数よりかなり多くなり、特に手足口病およびヘルパンギーナで急増しています。増加した疾患は手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎等で、減少した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎および感染性胃腸炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の細菌性赤痢1名および三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症2名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



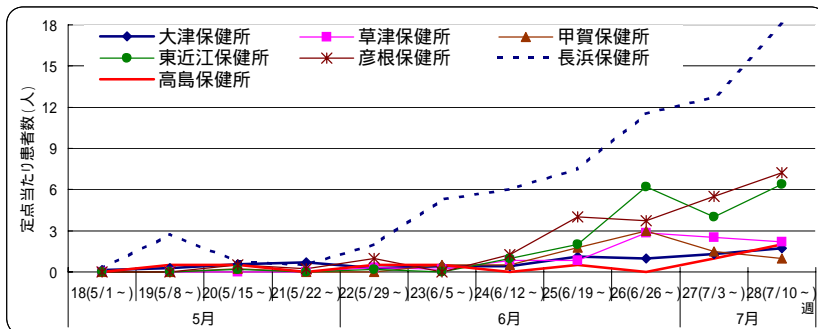
上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第28週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、水痘、伝染性紅斑の順に多くなっています。

手足口病は先週に引き続き長浜で非常に多くなっており、彦根および東近江においても増加傾向を示しています。

手足口病の保健所管内別発生状況(平成18年第18~28週、5/1~7/16)



第18~28週における発生状況はグラフに示すとおりです。

<手足口病の予防>

飛沫感染、経口感染、接触感染により感染するため、

1. 患者に近づかない
 2. 手洗いの徹底
- が大事です。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (28週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (28週)	全国 (28週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	細菌性赤痢	1	^{(*)2} 3	217	^{(*)3} 7	556
	腸チフス	0	0	45	0	50
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2	15	1,142	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	40	0	40
	A型肝炎	0	2	222	1	168
	オウム病	0	0	15	1	34
	デング熱	0	0	22	1	73
	マラリア	0	0	31	0	66
五類感染症	レジオネラ症	0	5	219	3	276
	アメーバ赤痢	0	5	369	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	130	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	89	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	74	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	7	650	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	47	0	81
	梅毒	0	3	324	0	555
	破傷風	0	0	46	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	41	2	65
急性脳炎	0	1	99	2	180	

- *1: 平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
 *2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。
 *3: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第28週(7/10～7/16) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: A型肝炎 2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 10例
二類感染症: 細菌性赤痢 5例	E型肝炎 2例	劇症型溶血性
腸チフス 2例	レジオネラ症 7例	レンサ球菌感染症 1例
三類感染症: 腸管出血性	つつが虫病 4例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
大腸菌感染症 122例	五類感染症: 急性脳炎 3例	バンコマイシン耐性
四類感染症: デング熱 2例	アメーバ赤痢 11例	腸球菌感染症 2例
マラリア 2例	梅毒 7例	ウイルス性肝炎 4例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第23週～28週、6/5～7/16)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	23週	24週	25週	26週	27週	28週	週				
	(6/5～)	(6/12～)	(6/19～)	(6/26～)	(7/3～)	(7/10～)	24	25	26	27	28
インフルエンザ	0.71	0.80	0.16	0.26	0.06	0.02					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
咽頭結膜熱	1.91	1.88	1.72	1.88	1.47	1.50					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.72	1.69	1.22	1.28	1.06	0.69					
感染性胃腸炎	2.66	2.31	1.50	1.03	1.09	0.97					
水痘	2.84	2.47	2.47	1.88	1.38	1.47					
手足口病	0.88	1.38	2.41	4.00	3.91	5.19					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.53	0.66	0.44	0.53	0.75	1.06					
突発性発しん	0.59	0.41	0.38	0.44	0.25	0.59					
百日咳	0	0	0	0	0	0.03					
風しん(三日はしか)	0.03	0.03	0.03	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0.97	1.13	1.94	2.28	2.56	3.78					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0.03	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.66	0.53	0.88	0.72	0.72	1.03					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.14	0.29	0.57	1.00	0.71	0.86					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

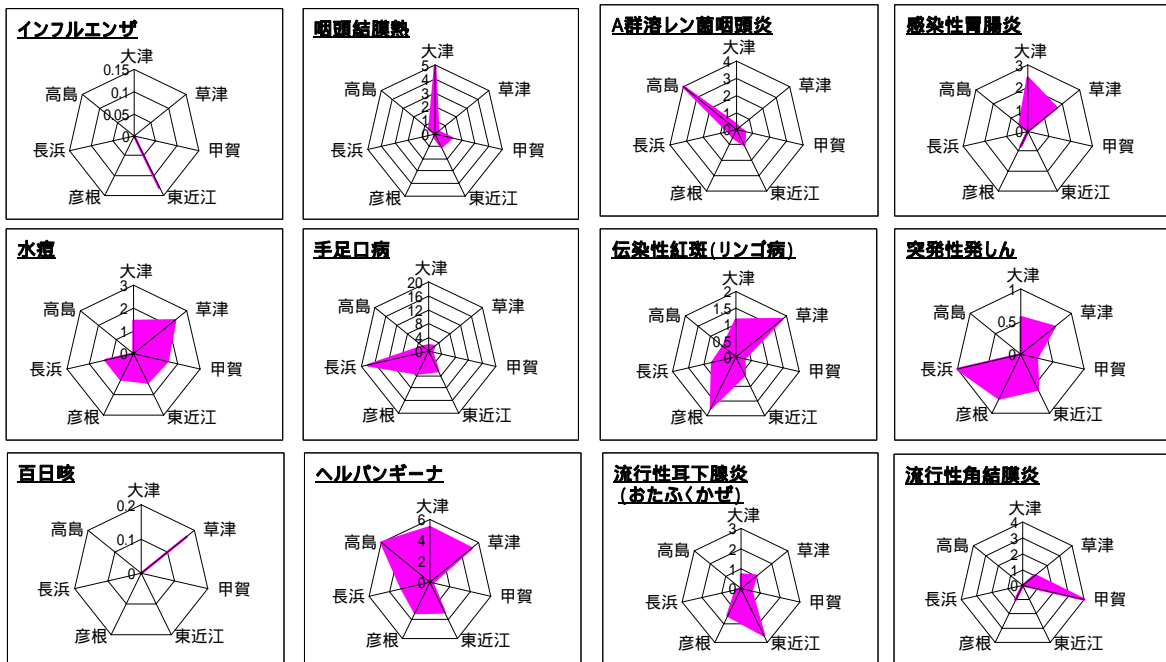
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第28週, 7/10~7/16)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.02	0	0	0	0.13	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	1.50	4.86	0.33	1.25	1.00	0.25	0	0.50	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.69	0.29	0.17	0.50	1.00	0.50	0.50	4.00	■
感染性胃腸炎	0.97	2.43	1.67	0	0	0.75	0	0.50	■
水痘	1.47	1.43	2.33	1.50	1.40	1.25	1.25	0	■
手足口病	5.19	1.71	2.17	1.00	6.40	7.25	18.00	2.00	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	1.06	1.14	1.83	0.25	0.60	1.75	0.75	0.50	■
突発性発しん	0.59	0.57	0.67	0.25	0.60	0.75	1.00	0	■
百日咳	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	■
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	3.78	5.29	5.17	0.25	3.20	3.25	2.75	6.00	■
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.03	0.71	1.00	0.50	2.60	1.50	0.25	0	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.86	0	1.00	4.00	0	1.00	0	0	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加、■ は定点当たり患者数が非常に多い状態

0 1 2 3 4 5 6
定点当たり患者数(人)

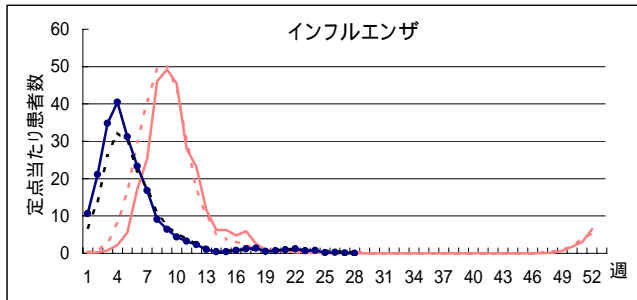
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



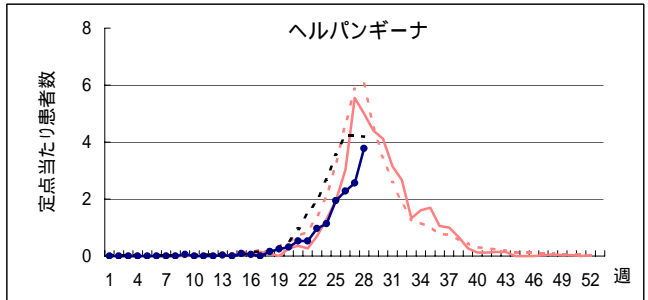
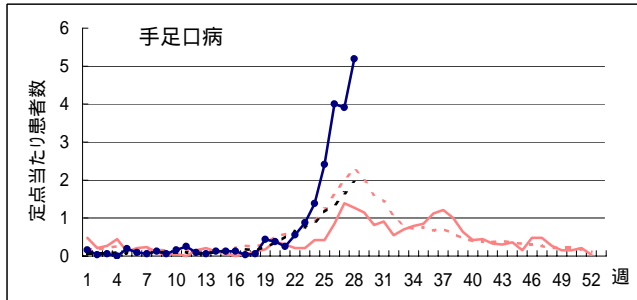
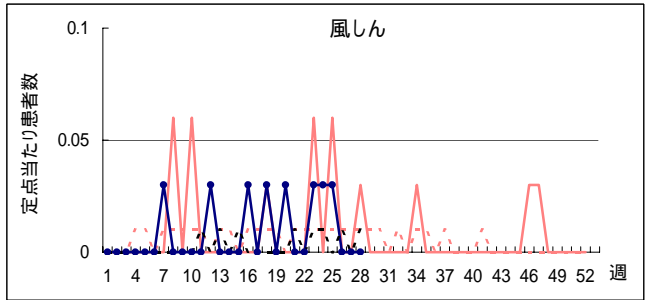
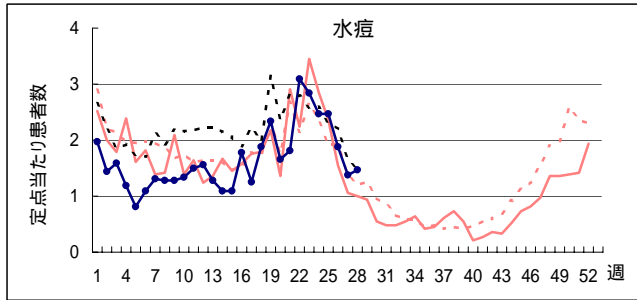
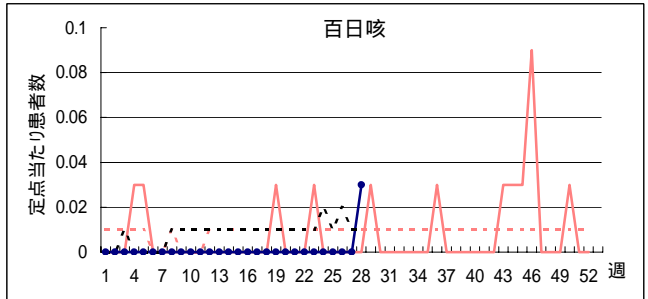
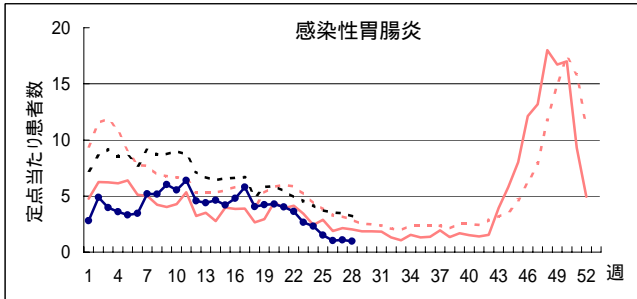
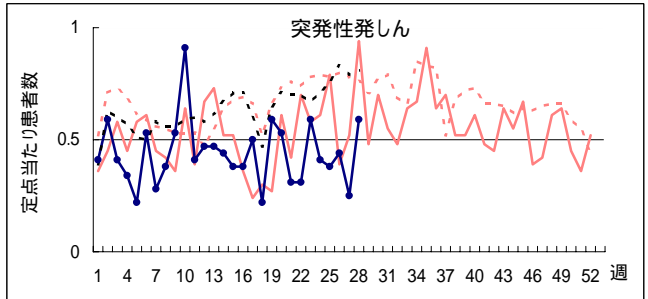
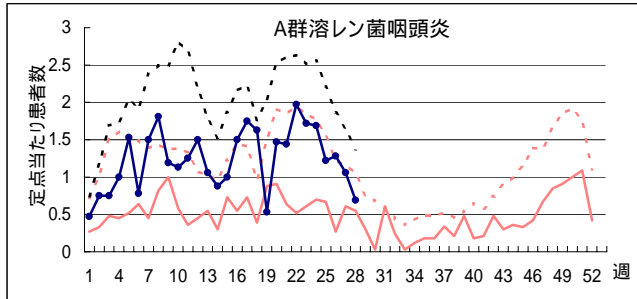
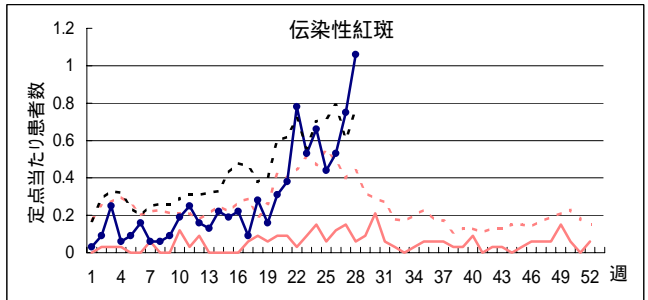
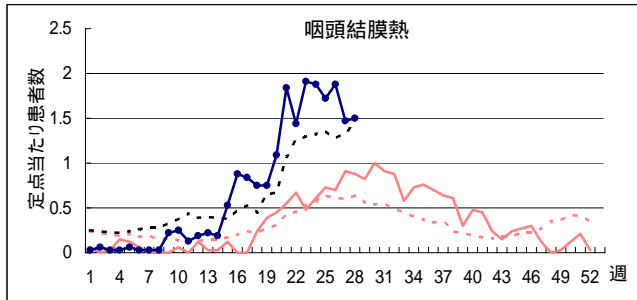
今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ----- 東近江からの報告のみで、他の保健所管内からの報告はありません。
- 咽頭結膜熱----- 大津、甲賀および東近江で先週より増加し、特に大津では先週に引き続き非常に多い状態が続いています。
- A群溶レン菌咽頭炎---- 高島では5週連続して非常に多い状態となっています。
- 感染性胃腸炎----- 各保健所管内とも先週とほぼ同様の発生状況となっています。
- 水痘----- 大津および草津では先週のほぼ倍増となっていますが、他の保健所管内では先週より少なくなっています。
- 手足口病----- 草津および甲賀以外で先週より増加しています。特に長浜では第22週以降連続して増加し、定点当たり患者数は18.00と非常に多くなっています。また、東近江および彦根においても増加傾向を示しています。
- 伝染性紅斑----- 大津および長浜以外で先週より増加し、県全体としては昨年同時期の定点当たり患者数よりかなり多くなっています。
- 百日咳----- 草津から報告されています。
- 突発性発しん----- 草津および高島以外で先週よりやや多くなっています。
- ヘルパンギーナ----- 甲賀および高島以外では先週より急増しています。
- 流行性耳下腺炎----- 県全体としては先週より増加し、特に東近江で多くなっています。
- 流行性角結膜炎----- 甲賀で先週より増加しています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第28週、H18.1.2～H18.7.16)



H17
 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H18
 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第28週、H18.1.2～H18.7.16)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国

